

2 第11回読書感想発表会

従来と違った点は、第3部として「家庭における読書について」を新しく設けたことである。

1 趣 旨

最近の調査によりますと、県内には438の読書グループが存在することが分りました。けれども、これらのグループでは、年々発行されるおびただしい出版物のなかからどのようにして選び、読み、味わっているのでしょうか。読書グループはどのように運営されているのでしょうか。たいへん興味ある問題であり、またたいへん大切な問題であると思われます。

そこで、日頃読書のお世話をしている図書館や公民館の職員と読者が一堂に会して、読後感を聞き、あるいは、読書会についての情報交換の機会を持つことは極めて大切なことであると思います。また今年度からは、母親の読書グループの活動が顕著であることにかんがみ従来の第1部、第2部に加えて、新たに第3部として「家庭における読書について」を設けることにいたしました。

2 主 催

- (1) 地方発表会 地方に一任
 (2) 県大会 福島県立図書館 福島県公共図書館協会 福島県読書推進運動協議会

3 後 援

地方発表会、県大会ともに開催地の社会教育関係団体
 福島民報社およびラジオ福島

4 発表会の日時と場所

地方発表会

発表者

第1部

| 地区名 | 場 所 | 期 日 |
|-------|------------|-------|
| 田島地区 | | |
| 須賀川地区 | 長沼町公民館 | 1月20日 |
| 会津地区 | 会津図書館 | 1月27日 |
| 郡山地区 | 郡山市図書館 | 2月4日 |
| 白河地区 | 白河市図書館 | 2月3日 |
| 平地区 | 平市生活改善センター | 2月3日 |
| 相馬地区 | 相馬市公民館 | 1月27日 |
| 県北地区 | 県立図書館 | 1月27日 |
| 県大会 | 郡山市公民館 | 2月1日 |

5 発表の種類

- 第1部 読後感について
 第2部 読書会の運営について
 第3部 家庭における読書について

6 発表の時間

- 第1部 10分以内
 第2部 15分以内
 第3部 10分以内

7 第11回読書感想発表会県大会助言者及び出場者助言者

| | |
|----------------|--------|
| 相馬市公民館長 | 田中英昭 |
| 会津若松市会津図書館長 | 大村武一 |
| 内郷市立図書館長 | 根本栄雄 |
| 白河市立図書館長 | 本間昇 |
| 須賀川市立図書館協議会委員 | 伊藤清明 |
| 郡山市図書館協議会委員 | 内海久次 |
| 田島町教育委員会社会教育主事 | 室井康弘 |
| 福島民報社郡山支社報道部長 | 桑沢満寿之助 |

| 番号 | 地区名 | 題 名 | 所属団体名 | 職 業 | 氏 名 | 年令 |
|----|-----|---------------------|--------------|------------|---------|----|
| 1 | 田 町 | 「地上の富」を読んで | | 農 協 職 員 | 紺 頼 稔 | |
| 2 | 会 津 | 「一握の砂」によせて | 城西PTA読書会 | 主 婦 | 五十嵐 滯 子 | 38 |
| 3 | 県 北 | 「風神雷神」を読んで | 二本松青年文化協会図書部 | 商 業 | 国 井 庄 八 | 30 |
| 4 | 石 城 | 「蓼喰う虫」を読んで | 十 日 会 | 会社員 | 甲 高 光 | |
| 5 | 白 河 | クローニンの「三つの愛」を読んで | | 事務員 | 平原 悦 子 | 24 |
| 6 | 須賀川 | 「泥にまみれて」の志乃の生き方について | | 看護婦 | 桑 名 初 代 | 26 |
| 7 | 郡 山 | かしこい母となるために | わ か ば | 主 婦 | 佐 藤 国 枝 | |
| 8 | 相 馬 | がんばれ村のかあちゃん | 飯豊若妻学級会 | 農 業 | 五十嵐 花 江 | 30 |